

## 南紀熊野ジオパーク探偵団 令和4年度活動 「紀伊半島の森林の生態系を考える」を実施します

～ 自然や環境を考える高校生・中学生を募集 ～

「南紀熊野ジオパーク探偵団」は、探究活動を通じて得る新たな気づきをもとに、「think locally, act globally」（地域で考え、地球規模で行動）の視点に立ち、未来を考え、地元が抱える問題の解決に向け、自立的な思考力を備えた人材を育成する目的に、専門家の指導や助言を受けながら、子供たちが主体的に調査・研究等の活動を行います。

今回、北海道大学和歌山研究林（古座川町平井）と協働し、「紀伊半島の森林の生態系を考える」をテーマに活動を実施します。

### ～北海道大学和歌山研究林のご紹介～

1925年、当時の北海道帝国大学においても本州の森林や林業について実践的に学べる場が提供できるようにと、和歌山研究林(当時は和歌山演習林)が創立されました。

和歌山研究林にはスギ・ヒノキ人工林のほか、天然コウヤマキなどの希少種が残された、人の手が加わっていない保存林が広がっています。またスギ・ヒノキ人工林を様々な強度で伐採したのち、付近の広葉樹による種子供給などで混合林化を試みるなどの研究活動が行われています。



和歌山研究林の紹介記事  
(北海道大学リサーチタイムズ内)



出典：北海道大学リサーチタイムズ - 知のフィールド #6 北海道大学 和歌山研究林「緑かがやく未知の森」(写真撮影：GEOGRAMS 伊藤広大)

### ◆活動日程等

日程	内容	
11月2日(水) 16:30～18:00	事前学習 (オンライン)	本年度の活動概要と問題意識を共有します。
11月6日(日) 12:30～16:30	現地調査活動	森林の構成を把握する調査(毎木調査)を行います。 定員：10名程度 場所：北海道大学和歌山研究林(古座川町平井)
調査後1月以内	事後学習 (オンライン)	調査結果の報告と課題の共有、意見交換をします。
(随時)	探究活動	専門家の助言を受けながら、グループで更に調査・分析・考察を進めます。(希望者)
令和5年 3月頃(予定)	活動発表会	探究活動の成果を発表し、専門家の評価を受けることで、新たな気づきを得ます。

※日本地球惑星科学連合大会(令和5年5月ごろ)での発表も予定

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、日程・内容を変更する場合があります。

(裏面に続きます)

## ◆活動の目的

森林は、二酸化炭素を吸収したり、多様な動植物を育むなど私たちに様々な恩恵をもたらしています。しかし、世界では、1000 万ヘクタール（北海道面積の約 1.2 倍に相当）の森林が毎年破壊され、約 4 万種が今後数十年で絶滅の危機に瀕すると報告されています\*。

一方、江戸時代に紀州藩では、「留山」という制度を定め、森林資源の保護や土砂災害の防止が必要な場所での樹木の伐採などを禁じていました。現代でも、和歌山県では、先人の知恵にならい、貴重な自然生態系を支える森林を「新紀州御留林（しんきしゅうおとめりん）」として公有林化し永続的に保護しています。

本テーマでは、天然林や人工林において、森林の構成を把握する調査を行い、森林の生態系について考察していきます。

\* 出典：国連「持続可能な開発目標（SDGs）報告 2022」



## ◆探偵募集

募集対象：自然や環境に関心のある高校生及び中学生

募集期間：上記活動に参加希望の場合は、令和4年10月11日（火）から10月26日（水）までの間に、申込様式により下記まで、ご応募ください。（活動参加は先着順。探偵は通年で募集）

応募方法：メール又は FAX で、南紀熊野ジオパークセンターまで（電話：0735-67-7100）

メール：e0320005@pref.wakayama.lg.jp FAX：0735-67-7191

申込様式等はホームページを御覧ください。

<https://nankikumanogeo.jp/event/tanteidan2022shinrin/>



参加申込は、学校の先生やクラブの顧問など引率者の方に取りまとめをお願いしています。

参加については、担当の先生等にご相談ください。

## ◆問い合わせ先

南紀熊野ジオパークセンター

〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 2 8 3 8 - 3

電話 0735-67-7100 FAX 0735-67-7191

Mail e0320005@pref.wakayama.lg.jp

HP <https://nankikumanogeo.jp/event/tanteidan2022shinrin/>